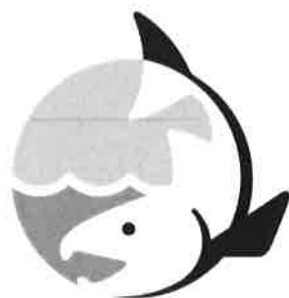


第 1 2 事業年度（2024 年度）

事業計画書

自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 3 1 日



一般社団法人 **根室管内さけ・ます増殖事業協会**

〒086-1634

北海道標津郡標津町北4条西1丁目1番13号

TEL : 0153-82-3617 FAX : 0153-82-1273

E-mail : nemurokn@olive.ocn.ne.jp

<http://www.nemurokn.or.jp/>

目 次

基本的な考え方	1～2
令和6年度 事業計画取り組み要点	3
第1. 事業計画	
1. さけ・ます増殖事業	4～6
(1) さけ・ます親魚捕獲採卵事業	
(2) さけ・ます人工ふ化放流事業	
(3) さけ・ます放流調査事業（補助対象事業）	
2. さけ・ます資源保護対策事業	6～8
(1) 各種調査事業	
(2) 河川環境保全事業	
(3) 教育研修活動事業	
(4) 密漁・窃盗被害防止対策事業	
3. その他事業	8
(1) 交流会事業	
4. 増殖施設整備事業	8～10
(1) 施設整備・補修工事	
(2) 固定資産取得内訳	
5. 増殖負担金等の受入について	10
6. 道増協が実施する支援事業費について	11
第2. 会費等の額及び徴収方法について	12
1. 会費（さけ定置業者、漁業協同組合並びに市町会員会費）	
2. さけ・ます漁獲高割負担金	
3. 徴収方法	
第3. 令和6年度収支予算書	13～15
付属資料	
令和6年度海洋環境変化に対応した稚魚生産の取り組み要点	16
令和6年度調査試験計画	17～18
令和6年度さけ・ますふ化放流計画	19～24

基本的な考え方

令和5年度の本道における秋さけ来遊尾数は、約2,200万尾、前年比67.4%と、昨年の豊漁が一転して不振となっています。

一方、漁獲金額は、中国の輸入規制等により魚価も低迷し、昨年の過去最高額600億円を大きく下回る400億円割れとなっています。

地区間の格差が大きく、特に、えりも以東地区から以西地区においては、毎年、前年を下回る漁獲となっており、定置経営、増殖事業運営が大変厳しい状況が続いています。

当管内における秋さけ来遊尾数は、約298万尾、前年比74.1%と、好漁予測が一転し、前年を大きく下回る結果となりました。

漁獲金額も、53.2億円、前年比76.4%となりました。未だに地域間、網間の格差が大きく、低位水準が続いていることから、定置経営状況は厳しく、更には、負担金で成立つ増殖事業においても厳しい状況が続く結果となっております。

種卵確保につきましては、2年続けての定置漁業者の理解のもと、投網開始を遅らせる措置を講じて種卵確保に努めて参りました。結果、計画卵数を上回る確保となり、釧路地区及び、本州への移殖等を行い終了しました。

からふとますにつきましては、昨年の過去最低を更新する漁獲尾数となり、全道においても、今後の資源動向が危惧されています。

北海道、水資研、及び内水試、北見、宗谷管内増協と連携を取り資源の回復に努めて参ります。

令和6年度の事業推進にあたりましては、「第3期、5ヶ年計画（4年～8年）」を基本に事業を推進して参ります。（資源造成目標550万尾）

沿岸の環境変化に的確に対応するため引き続き「親魚の十分な確保と良質な種卵の確保」に努め、稚魚の種苗生産、適期放流体制を堅持し、資源回復に努めて参ります。

当協会の運営資金につきましては、50億円の8.0%、4億円を負担金収入とすることで計画いたします。なお、この負担金1.2%増の計画8.0%は、今年度までの約束であり、次年度以降の資金計画につきましては、今年度中に運営委員会等で協議し、理事会において決定をいたします。

また、近年の物価高騰による事業経費の増額が見込まれることから、より効率的な事業運営に努めて参ります。

秋さけ資源の低迷により、増殖事業の運営が大変厳しくなっている中、今こそ、各地区組織が「自立、安定」した運営体制を構築していくことが重要であり、強く求められています。会員の皆様には、ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

今後とも、国、道などの関係機関のご指導のもと、役職員が一丸となり適切な組織の運営と効率的な事業推進に努め、管内のさけ・ます資源の回復と、定置漁業の経営安定に貢献して参りますので、会員各位の一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

〔令和6年度 事業計画取り組み要点〕

増殖事業を取り巻く環境に対応した事業転換を図るため、国や道などの行政、研究機関の指導支援を受けるとともに、調査研究に対して全面協力をし、1年でも早い資源回復・安定のために最大限努力することとして、以下の項目を柱に進めて参ります。

(付属資料 17 ページ参照)

1. 計画卵数の確保【地場親魚・良質卵の確保】

「高い発眼率（稚魚生産率）の維持」

2. 回帰率向上のための稚魚生産・放流体制の構築【沿岸生存率の向上】

「オイル添加飼料の給餌」

「寄生虫病対策の検討」（承認薬品の共同研究）

「海水適応試験による健苗性把握」

3. 科学的根拠に基づく放流時期の検証【放流体制の改善】

「放流時期・場所を再検証するための標識放流」(増殖戦略実証調査)・・・北部地区

「早期放流（4月）の実施・検証」・・・南部地区

「各放流河川の環境に対応した放流場所の選定」

4. 各種試験、調査の実施【回帰率向上のための事業転換】

「放流適地調査」・・・根室半島地区

※ 水資研及び道東センターによる技術普及、指導体制を強化していただき、技術的チェック体制を構築する。

第 1 . 事業計画

1. さけ・ます増殖事業

(1) さけ・ます親魚捕獲採卵事業（付属資料 20～25 ページ参照）

北海道が策定した令和 6 年度「さけ・ます人工ふ化放流計画」に基づき、捕獲採卵河川 1 2 河川と補完河川 2 河川において、良質卵の計画数確保を目標に事業を実施します。

- ① 当管内による地場卵の計画卵数確保に全力で取り組みます。
- ② 捕獲事業については、その運営を各漁協さけ定置部会の協力を受け、西別・風蓮川捕獲場は「別海漁業協同組合」に、別当賀川捕獲場は「根室湾中部漁業協同組合」、床丹川捕獲場は「野付漁業協同組合」にそれぞれ業務委託により実施し、捕獲体制の強化を図ります。
- ③ からふとますについては、全道的に種卵の確保が大変厳しい状況となっていますが、当管内による地場卵確保を基本として実施します。
- ④ 捕獲事業における不要親魚等につきましては、本協会の事業収入となることから、出来るだけ高価格の販売を実施します。

(2) さけ・ます人工ふ化放流事業（付属資料 20～25 ページ参照）

第三期根室管内さけ・ます人工ふ化放流計画中期方針（令和 4～8 年度）に基づき、「高い資源水準への回復」を目指し放流手法の改良を図りながら事業を実施します。

- ① 管内全体の放流数は、1 9 5 , 0 0 0 千尾を計画します。
- ② 種卵の確保にあたっては、地場親魚による良質卵の確保を目標に取り組みます。
- ③ 主要河川である標津川並びに西別川をはじめとした各河川においては、現在行っている油脂添加飼料の給餌や下流域放流等を継続して実施します。
- ④ 寄生虫病対策として、承認薬品の共同開発の他、現行の駆虫方法についても効率化を図りながら健苗稚魚の生産に取り組みます。

- ⑤ 一部の早期飼育・放流群に対応するため、放流河川内での2次飼育の場所選定を含め実施します。（北部地区）
- ⑥ 研究機関からの提案を取り入れた放流方法を実践します。
（西別川：4月放流、体サイズ1.5g/尾）
- ⑦ えりも以東東部地区の資源造成については、東部地区の主要河川である釧路川の資源が不安定であるため、北海道や十勝釧路管内増協等と協議し根室半島部における計画卵数の安定的な確保や増殖体制の改善に向けて取り組みます。
- ⑧ からふとますについては、平成29年度から共同研究として実施した「全数耳石標識放流」による最終報告を基に、放流計画数や事業体制の見直し等を検討します。

（3）さけ・ます放流調査事業（補助対象事業）

① さけ・ます放流体制緊急転換事業

本事業は、調査河川における最適な放流手法（放流時期や場所）を検討するため（増殖戦略）、耳石温度標識を施した稚魚を生産・放流します。また、これまで放流してきた耳石温度標識の回帰状況を確認します。

1) 増殖戦略実証調査による標識稚魚の放流

ふ化場名	放流尾数	事業費	補助額	補助事業者
標津・中標津	8,400千尾	32,340千円	16,170千円	国

2) 増殖戦略実証調査による耳石施標業務

実施場所	施標卵数	受託費	補助事業者
標津	8,400千粒	1,699千円	国

3) 増殖戦略実証調査による回帰親魚調査（耳石採取業務）

実施場所	実施期間	採捕親魚数	受託費	補助事業者
標津川	10月中旬～11月中旬	200尾	60,000円	国

② さけ・ます等栽培対象資源対策事業（さけ・ます不漁対策事業）

本事業は、西別川から放流される稚魚を利用して放流後の移動や成長、放流時期を検証し、回帰率の向上を目指すことを目的に、国からの委託事業として、水資研並び道総研等が参画して実施している事業です。本年度も引き続き、この事業に係わる耳石温度標識魚の種苗生産を請け負います。

ふ化場名	標識尾数	業務受託費	補助事業者
本別ふ化場	3,000千尾	9,100千円	国

③ さけ増殖資材緊急開発事業

本事業は、オイル添加餌料・無添加餌料双方による飼育成績（餌料効率等）を比較し、効率的な種苗生産手法を検討することとして、飼育餌料費に対しての助成を受け入れます。

実施場所	事業費	補助額	補助事業者
各ふ化場	27,020千円	13,510千円	国

④ 秋サケ資源回復加速化業務

遊泳力強化や飢餓耐性の向上が期待できるDHA高含有オイルを餌に添加して放流する他、耳石温度標識を施す業務を北海道からの委託を受け実施します。

ふ化場名	放流尾数	業務受託費	補助事業者
春苅・湯の沢 薫別・中標津	4,200千尾	4,224千円	北海道

2. さけ・ます資源保護対策事業

(1) 各種調査事業

近年の不漁に対する抜本的な対策方法は不透明であるものの、放流後の河川や沿岸の環境を把握し、その変化に対応するため、関係各機関と連携し以下の調査を行います。

（その他調査は付属資料 18～19 ページ参照）

① 水温データ観測

主要放流河川において、親魚遡上及び放流時期における河川内水温を把握するため、データロガーを設置してデータの蓄積を図ります。（標津、当幌、西別各河川）

② さけ・ます稚魚渚滞調査

放流後の渚滞における稚魚の滞游状況を把握することを目的に、毎年実施している調査を本年度も継続して実施します。（平成7年度から実施）

③ 根室半島部における放流適地等調査

半島部における放流適地を探索する事を目的として、標識放流等を活用して実施します。（令和4年度から8年度までの5ヵ年）

④ 標津町サケマス自然産卵調査

標津町内の河川における自然産卵状況の調査に対し協力していきます。

⑤ 西別川河川環境調査

近年の河川遡上親魚の減少を受けて、従前からの河川環境の変化を把握するため、水質やさけ稚魚の被食実態及び捕食魚の生息数に関して基礎情報を蓄積することを目的として実施します。

⑥ 新規水源等開発調査

将来的な施設整備（2次飼育池等）候補地の選定に向け、水源確保を図るため、これまで実施してきた地質調査等を踏まえ有望地域等を検討します。

（2）河川環境保全事業

さけ・ます人工ふ化放流事業を安定的に推進していくためには、河川環境の保全が重要であることから、管内漁協専務参事会が実施している「河川パトロール」に参画し、河川環境への負荷軽減等に努めるほか、水質汚濁事故等の際には、水質調査を公害対策本部と連携し実施します。

また、近年増え続けている捕獲場周辺及び河口域等の土砂堆積についての問題を、関係機関に対し要請等を継続して実施します。

（3）教育研修活動事業

職員の技術向上に向けて、関係機関が実施する技術研修会等に積極的に参加するとともに漁業者との意見交換や研修会等を積極的に実施し、当協会の仕事をより理解してもらい、漁業者との共通の接点を持ちながら資源造成に努めて参ります。

また、各漁協及び部会等からの要望等に対して、水資研、道総研とともに対応して参ります。

(4) 密漁・窃盗被害防止対策事業

事業河川での密漁及びふ化場蓄養池における窃盗被害が全道的に発生していることから、管内の主要捕獲河川において、パトロールを外部委託するほか、随時取締機関と連携を密にして必要な対策を実施します。

また、現在設置している防犯システムが効果を得ていることから、本年度も引き続き業務委託をします。

項目	事業費(円)	摘要
密漁パトロール業務委託	700,000	標津川
監視カメラ設置 (リース及び買取)	300,000	標津・西別・風蓮川捕獲場、植別・薫別
異常時出動業務委託 (防犯システム)	800,000	標津・計根別・西別
合計	1,800,000	

3. その他事業

(1) 交流会事業

北見管内増協との連携強化を図り、増殖事業等に係る諸問題への対応と親睦を図ることを目的として交流会を開催します。

また、日高、十勝釧路管内増協と、えりも以東海区における資源造成についての協議をします。

4. 増殖施設整備事業

北海道から助成を受け行う施設補修（「秋サケ資源回復加速化事業」）の他、ふ化・捕獲施設の維持改善のため、整備・補修工事を行います。また、老朽化した現場事務所及び職員の生活環境改善を図るため、宿舎(築約40年)の修繕を行います。

(1) 施設整備・補修工事

	事業内容	事業費 (円)	施設名
施設整備	河川浚渫 (ふ化場取水・捕獲場)	5,000,000	標津・西別・当幌他
	捕獲施設設置・撤去	4,000,000	各施設
	その他施設整備	2,000,000	各施設
小 計		11,000,000	

	事業内容	事業費 (円)	施設名
施設補修 単費	道補助 養魚棟暗幕更新	1,100,000	羅 臼
	養魚棟軒天補修	1,500,000	中標津
	養魚棟外壁補修	4,500,000	忠 類
	揚水ポンプ点検整備 (オーバーホール)	4,500,000	忠類、中標津
	魚道ゲート、フェンス補修	1,000,000	標津 (モデル)
	除塵機の整備	1,700,000	西別
	捕獲槽補修	700,000	当幌 (捕)
	浮きデッキ場更新	1,000,000	当幌 (捕)
	自動検卵機点検	1,100,000	各ふ化場
	発電機点検整備 (触媒栓交換含む)	1,100,000	各ふ化場
	稚魚排水処理施設点検整備	2,000,000	各ふ化場
	電気設備交換	1,000,000	床丹、当幌
現場事務所内装改修	1,000,000	標津、西別	
その他補修	6,000,000	各施設	
災害復旧	5,000,000	各施設	
小 計		33,200,000	
合 計		44,200,000	

大規模工事については、当協会の財務状況を勘案しながら、令和7年度以降の整備計画を今年度中に立案し、国及び北海道等の補助事業の活用を含め、計画的に実施していく考えであります。

(2) 固定資産取得内訳

固定資産取得支出となるものは次のとおりです。

資産科目	取得資産名	取得額（円）	摘要
機械・装置 (5,700,000)	湧水ポンプ更新（2台）	4,200,000	床丹
	非常時用ポンプ	1,500,000	本別
工具器具備品 (1,700,000)	捕獲槽更新 備品等	1,200,000 500,000	床丹（捕） 各施設
少額固定資産 (4,000,000)	職員住宅エアコン設置	1,400,000	各社宅
	現場事務所エアコン設置	1,200,000	各ふ化場
	漁夫舎エアコン設置	400,000	標津、西別
	その他	1,000,000	各施設
合 計		11,400,000	

5. 増殖負担金の受入について

各漁港等で実施する特別採捕許可に基づく小定置網漁業等による水揚げ金額に対して、漁獲高割負担金率と同じ8.0%で負担金を受け入れます。

また、標津捕獲蓄養施設に係る経費の一部を負担金として受け入れます。

項 目	金額（円）	摘 要
特別採捕負担金（8.0%）	500,000	別海・走古丹各漁港・温根沼
標津捕獲蓄養施設利用負担金	2,000,000	標津町
合 計	2,500,000	

6. 道増協が実施する支援事業費について

科 目	拠出金額	受入金額	摘 要
ふ化放流助成事業費 (支援事業費)	128,700千円	113,132千円	道増協が実施する支援事業費及び運営費等の9億円を各地区増協の漁獲高比率により拠出。(拠出割合14.3%=管内50億円、全道350億円で計画) 一方で、全道からの拠出金8.24億円を各地区増協の事業量に応じ配分受入する。

第 2 . 会費等の額及び徴収方法について

令和 6 年度（2024 年度）の会費及び負担金額の徴収については、次のとおりお願いいたします。

1 . 会 費（会費収入）

金 額 1,600 千円（160 会員×10,000 円 = 1,600 千円）

本会会員である、さけ定置漁業者、市町及び漁業協同組合を対象として、一会員当り年額 10,000 円の負担をお願いいたします。

地区名	定置会員								団体会員		合 計
	羅臼	標津	野付	別海	湾中	根室	歯舞	落石	漁協	市町	
会員数	32	28	33	15	4	9	14	12	8	5	160

2 . さけ・ます漁獲高割負担金（負担金収入）

金 額 400,000 千円

さけ定置漁業者並びに共同漁業権に基づく、ます小型定置網漁業及び特別採捕による、さけ・ます漁獲金額の 8.0% の負担をお願いいたします。

計画漁獲高割金額（さけ・ます合計）	負担率	漁獲高割負担金額
5,000,000 千円	8.0%	400,000 千円

3 . 徴収方法

- （1）会費は、8 月末日までに本協会指定口座に納入願います。
- （2）漁獲高割負担金は、毎月末締めで翌月 10 日までの納付とし、定置漁業以外の漁業については、漁期終了後の納付をお願いいたします。

第3. 収支予算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①特定資産運用収入	100,000	100,000	0
特定資産利息収入	100,000	100,000	0
②会費収入	1,600,000	1,670,000	-70,000
会員会費収入	1,600,000	1,670,000	-70,000
③負担金収入	402,500,000	402,500,000	0
漁獲高割負担金収入	400,000,000	400,000,000	0
特別採捕負担金収入	500,000	500,000	0
施設利用負担金収入	2,000,000	2,000,000	0
④事業収入	67,423,000	62,801,200	4,621,800
親魚捕獲採卵事業収入	20,000,000	15,000,000	5,000,000
放流体制緊急転換事業稚魚売却収入	32,340,000	32,340,000	0
放流体制緊急転換事業受託収入	1,759,000	1,759,000	0
さけ・ます不漁対策事業受託収入	9,100,000	9,410,000	-310,000
秋サケ資源回復加速化業務受託収入	4,224,000	4,292,200	-68,200
⑤補助金等収入	129,974,000	128,568,079	1,405,921
さけ増殖資材緊急開発事業収入	13,510,000	12,104,079	1,405,921
ふ化放流助成事業費収入	113,132,000	113,132,000	0
秋サケ資源回復加速化事業費収入	3,332,000	3,332,000	0
⑥雑収入	2,755,250	2,763,972	-8,722
受取利息収入	2,000	2,000	0
職員住宅料収入	2,600,000	2,600,000	0
福利厚生貸付金利息収入	3,250	11,972	-8,722
雑収入	150,000	150,000	0
事業活動収入計	604,352,250	598,403,251	5,948,999

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
2. 事業活動支出			
①事業費支出	457,970,000	447,520,000	10,450,000
給料手当支出	105,400,000	98,000,000	7,400,000
臨時労務費支出	35,000,000	35,000,000	0
法定福利費支出	23,000,000	24,000,000	-1,000,000
福利厚生費支出	3,000,000	3,000,000	0
会議費支出	0	50,000	-50,000
施設整備費支出	11,000,000	8,000,000	3,000,000
施設補修費支出	33,200,000	23,100,000	10,100,000
餌料費支出	38,000,000	36,000,000	2,000,000
旅費交通費支出	1,000,000	2,500,000	-1,500,000
通信運搬費支出	1,200,000	1,200,000	0
備品費支出	4,000,000	4,000,000	0
消耗資材費支出	20,000,000	20,000,000	0
借上費支出	3,500,000	3,500,000	0
車輛費支出	5,000,000	5,000,000	0
燃油費支出	12,000,000	12,000,000	0
水道光熱費支出	7,000,000	7,000,000	0
除雪費支出	1,500,000	1,500,000	0
動力費支出	90,000,000	100,000,000	-10,000,000
賃借料支出	20,000,000	21,000,000	-1,000,000
保険料支出	3,500,000	3,500,000	0
租税公課支出	10,000,000	10,000,000	0
放流体制緊急転換事業負担金支出	16,170,000	16,170,000	0
業務委託費支出	12,500,000	11,000,000	1,500,000
雑支出	2,000,000	2,000,000	0

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
②管理費支出	235,209,160	182,350,000	52,859,160
役員報酬支出(常勤)	9,600,000	9,600,000	0
役員報酬支出(非常勤)	2,150,000	2,150,000	0
給料手当支出	34,000,000	32,700,000	1,300,000
退職給付支出	26,139,160	0	26,139,160
法定福利費支出	8,000,000	4,500,000	3,500,000
福利厚生費支出	2,500,000	2,500,000	0
会議費支出	2,000,000	2,000,000	0
旅費交通費支出	1,500,000	1,000,000	500,000
通信運搬費支出	800,000	800,000	0
交際費支出	300,000	300,000	0
消耗品費支出	300,000	300,000	0
修繕費支出	4,500,000	2,400,000	2,100,000
車両費支出	1,000,000	1,000,000	0
広告宣伝費支出	100,000	100,000	0
印刷費支出	1,000,000	1,000,000	0
備品費支出	500,000	500,000	0
水道光熱費支出	1,000,000	1,000,000	0
賃借料支出	400,000	400,000	0
地代家賃支出	900,000	900,000	0
保険料支出	450,000	450,000	0
図書購入費支出	50,000	50,000	0
業務委託費支出	1,500,000	1,500,000	0
租税公課支出	7,000,000	4,000,000	3,000,000
道増協漁獲高割負担金支出	128,700,000	112,500,000	16,200,000
他団体負担金支出	200,000	200,000	0
手数料支出	120,000	0	120,000
雑支出	500,000	500,000	0
事業活動支出計	693,179,160	629,870,000	63,309,160
事業活動収支差額	-88,826,910	-31,466,749	-57,360,161

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
Ⅱ 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
①特定資産取崩収入	119,545,470	60,415,853	59,129,617
施設整備資金取崩収入	88,006,310	58,015,853	29,990,457
職員住宅整備資金取崩収入	5,400,000	2,400,000	3,000,000
退職給付引当積立資金取崩収入	26,139,160	0	26,139,160
②固定資産売却収入	0	0	0
投資活動収入計	119,545,470	60,415,853	59,129,617
2. 投資活動支出			
①特定資産取得支出	24,109,024	22,964,333	1,144,691
施設整備積立資金取得支出	0	0	0
増殖事業安定化対策資金取得支出	0	0	0
職員住宅整備資金取得支出	2,600,000	2,600,000	0
退職給付引当資金取得支出	15,869,024	12,824,333	3,044,691
役員退任慰労金引当資金取得支出	1,440,000	1,440,000	0
機械装置購入支出	4,200,000	6,100,000	-1,900,000
②固定資産取得支出	7,200,000	7,100,000	100,000
土地購入支出	0	2,000,000	-2,000,000
機械装置購入支出	1,500,000	1,000,000	500,000
工具器具備品購入支出	1,700,000	3,100,000	-1,400,000
少額固定資産購入支出	4,000,000	1,000,000	3,000,000
投資活動支出計	31,309,024	30,064,333	1,244,691
投資活動収支差額	88,236,446	30,351,520	57,884,926
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
職員福利厚生貸付償還金収入	590,464	1,115,229	-524,765
財務活動収入計	590,464	1,115,229	-524,765
2. 財務活動支出			
職員福利厚生貸付金支出	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	590,464	1,115,229	-524,765
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	160,000,000	160,000,000	0
次期繰越収支差額	160,000,000	160,000,000	0

付 属 資 料

令和6年度 海洋環境変化に対応した稚魚生産の取り組み要点

海洋環境の変化

温暖化、レジームシフト

海洋熱波、黒潮大蛇行、赤潮

など

人工ふ化放流事業の継続による持続可能な漁業資源の維持

【親魚・種卵の確保】

- ・種卵の計画数確保
- ・良質卵の確保(優良親魚の使用)
(高い発眼率の維持)
- ・自然環境(産卵)を利用した対応
(親魚の再放流など)

- ・**地場親魚**の計画数確保
- ・**自主規制措置内容の事前検討**と実施
- ・移殖卵確保の要請
(不足時の事業河川以外への対応)

【養魚・稚魚生産】

- ・現状の**高い生産技術の継続実施**
- ・**寄生虫病対策**の検討
(承認薬品共同開発)
- ・**オイル添加飼料**の給餌
(放流後の生残率向上)
- ・**飼育密度の低減**による健苗魚の生産
- ・若手職員への基礎技術の継承および、他地区増協との技術的連携。

- ・ふ化場毎の健苗育成を柱とした『稚魚づくり』
健苗育成 = **海水適応能**の維持、**遊泳力・飢餓耐性**の強化
(沿岸生残率の向上)

【放流】

- ・適期・適サイズ放流の再検証
- ・**放流適地探索調査**
(根室半島地区)
- ・**二次飼育場所の探索**
(放流河川内の未利用流域)
- ・河川、沿岸の環境モニタリング
- ・以東地区の体制協議

- ・行政、研究機関による**科学的知見、根拠**に基づく環境変化に対応した放流体制の構築

<令和6年度調査試験計画>

(関係機関との協力体制のもと実施している調査試験等)

<さけます・内水面水産試験場道東センター関連>

・原虫調査 目的：各ふ化場の寄生虫処理の実態調査。 場所：【春苧古丹、標津、中標津、計根別、西別ふ化場】
・秋サケ資源回復加速化業務 目的：油脂添加飼料を給餌した稚魚の種苗性評価。 場所：【湯の沢、春苧古丹、薫別、中標津ふ化場】
・各種モニタリング 目的：来遊予測等に係る年齢調査や病原体の保有状況の調査。 場所：【標津川、当幌川】
・根室地区における最適な放流時期の検証（さけ・ます等栽培対象資源対策事業：水産庁委託事業） 目的：西別ふ化場標識放流魚を活用した移動・成長・放流時期検証。 場所：【別海、歯舞沿岸】
・自然産卵を利用したサケの資源増殖効果に関する研究 目的：自然産卵未利用河川における適正な産卵親魚数の把握。 場所：【標津川水系ミドリ川】
・稚魚生産・放流場所の探索調査 目的：根室半島部における放流適地調査を行い、現状の放流体制の改善を図る。 場所：【根室半島部（オホーツク、えりも以東東部）】

<水研機構水産資源研究所関連>

・技術普及 目的：ふ化場巡回による現状把握。 場所：【全ふ化場】
・秋サケ親魚の回遊状況等調査 目的：沿岸漁獲親魚からの耳石温度標識魚の回収、分析。 場所：【羅臼、標津、野付、別海、落石漁協】
・各種モニタリング 目的：来遊予測等に係る来遊親魚の年齢調査や病原体保有状況の確認、繁殖形質(卵サイズ等)の調査。 場所：【サケ（伊茶仁川、西別川）、カラフトマス（伊茶仁川）、サクラマス（標津川、伊茶仁川）】
・国際資源調査 目的：国際的なカラフトマス資源の評価に係る耳石温度標識の施標。 場所：【羅臼川、春苧古丹川 他】

<根室管内増協>

<p>・さけ・ます等栽培対象資源対策事業（水産庁委託事業）</p> <p>目的：放流時期等を再検証するための耳石温度標識魚の生産・放流。</p> <p>場所：【本別、西別ふ化場】</p>
<p>・沿岸渚滞調査（水産庁委託事業「さけ・ます等栽培対象資源対策事業」と共有）</p> <p>目的：放流稚魚の沿岸分布状況の確認と耳石標識稚魚の追跡調査。</p> <p>場所：【根室海域沿岸】</p>
<p>・さけ・ます放流体制緊急転換事業（水産庁補助事業）</p> <p>目的：適正な放流時期の再検証および放流場所の違い（上流、下流）による放流効果の検討。</p> <p>場所：【標津、中標津ふ化場】</p>
<p>・秋サケ資源回復加速化業務（油脂添加（DHA）飼料の給餌）（北海道委託業務）</p> <p>目的：油脂添加飼料の給餌による稚魚生産・放流とその耳石温度標識の施標。</p> <p>場所：【標津、中標津、計根別、西別ふ化場】【※湯の沢、春苧古丹、薫別、中標津ふ化場】</p> <p>※は委託業務実施場所</p>
<p>・下流域放流の実施</p> <p>目的：河川環境の影響を回避し減耗を抑えるための輸送放流。</p> <p>場所：【当幌川、床丹川、西別川】</p>
<p>・分散放流の実施</p> <p>目的：早期放流群の河川内等での未利用河川を活用した二次飼育。</p> <p>場所：【北部地区】</p>
<p>・河川環境観測（データロガー）</p> <p>目的：放流河川内の水温観測とデータの蓄積。</p> <p>場所：【標津川、西別川、当幌川】</p>
<p>・沿岸環境観測</p> <p>目的：関係機関による沿岸水温情報の収集とデータの蓄積。</p> <p>場所：【根室海域沿岸】</p>
<p>・ふ化用水の水質調査</p> <p>目的：ふ化場で利用する湧水や河川水について、酪農排水等の影響の有無を確認するため水質分析の実施。</p> <p>場所：【本別、西別ふ化場 他】</p>
<p>・卵期の魚病対策</p> <p>目的：卵期の魚病（水カビ病等）に対する各種消毒（イソジン、パイセス、カテキン）の効果的かつ効率的な方法の検討。</p> <p>場所：【全ふ化場（全収容卵）】</p>
<p>・稚魚期の魚病対策</p> <p>目的：北海道大学等との共同による稚魚期の寄生虫病に対する承認薬品の開発。 予防や治療（海水・食塩・食酢浴）の実施と効率的な方法の検討。</p> <p>場所：【北海道大学、製薬会社】【全ふ化場】</p>
<p>・放流稚魚の海水適応能試験</p> <p>目的：ふ化場で生産された稚魚に対する海水適応試験の実施による健苗度の把握。</p> <p>場所：【全ふ化場（放流稚魚全群）】</p>
<p>・西別川河川環境調査～根室振興局、水資研、道東センター、別海漁協</p> <p>目的：河川環境の把握とサケ稚魚の捕食状況の確認。</p> <p>場所：【西別川下流域】</p>
<p>・新規水源開発調査</p> <p>目的：施設整備（二次飼育池等）に向けた水源確保のための検討。</p> <p>場所：【北部・南部地区】</p>
<p>・自然産卵調査～標津町自然産卵調査協議会</p> <p>目的：自然産卵状況の確認等</p> <p>場所：【伊茶仁、標津川 他】</p>

別表1 - (1)

令和6年度サケふ化放流計画(総計)

海区	地区	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	地区間移植卵数 供給卵数(千粒)	水研機構への 供給卵数(千粒)	ふ化場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	
										供給場	稚魚数 (千尾)			
北部							モセカルベツ	7,300	6,500	モセカルベツ 上標津	2,000 2,000	ルサ	4,000	
		羅臼	10,000	10,000			羅臼	5,400	4,800	モセカルベツ 植別 元崎無異	500 2,000 2,700	羅臼	10,000	
		春駒古丹	10,000	10,000			春駒古丹	1,500	1,300	元崎無異 中標津 上標津	4,700 4,000 2,000	春駒古丹	12,000	
		(植別)					植別	6,800	6,000	元崎無異	500	植別	4,000	
		元崎無異	5,000	5,000			元崎無異	19,000	16,900	忠類	500	元崎無異	8,000	
		蘆別	11,300	11,300			蘆別	11,300	10,000	元崎無異	2,000	蘆別	12,000	
		伊奈仁	8,800	8,800		8,800	※伊奈仁	8,800	8,000	忠類	6,500	忠類	6,000	
		標津	76,400	76,400			中標津 上標津 標津	28,100 10,200 15,800	25,000 9,000 14,000			伊奈仁	8,000	
		地区計	121,500	121,500	0	8,800	11か所	121,500	108,000		22,400		10水系	108,000
		当幌	18,100	18,100			計根別 当幌	11,300 6,800	10,000 6,000				当幌	11,000
南部		(春別)					床丹	5,700	5,000	当幌	2,000	春別	2,000	
		床丹	5,700	5,700			床丹	5,700	5,000	当幌	3,000	床丹	8,000	
		西別	48,400	48,400		28,000	※虹別 奥西別 西別 本別	28,000 12,400 17,600 14,600	25,000 11,000 15,500 13,000			西別	43,000	
		風蓮	11,200	11,200			奥西別 西別 本別				1,000 5,150 2,850	風蓮	9,000	
		別当賀	13,000	13,000			奥西別 西別 本別				200 5,450 1,350	別当賀	7,000	
							奥西別 本別				2,000 1,000	オンネベツ	3,000	
							西別				500	第2ホニオイ サンコタン	500 500	
		地区計	96,400	96,400	0	28,000	7か所	96,400	85,500		25,000		9水系	84,000
		海区計	217,900	217,900	0	36,800	18か所	217,900	193,500		47,400		19水系	192,000
	えりも 以東							美留和 西別			美留和 西別	500 500	◎沖根編漁港	1,000
							美留和 西別			美留和 西別	500 500	◎三里浜地先	1,000	
							美留和 西別			美留和 西別	500 500	◎昆布盛地先	1,000	
		地区計	0	0	0	0	か所	0	0		3,000	3水系	3,000	
	海区計	0	0	0	0	か所	0	0		3,000	3水系	3,000		

注:()は補充河川、ふ化場・稚魚供給場の※は水研機構、◎は海中飼育等放流

別表1 - (2)

令和6年度サケふ化放流計画 (前期)

海区	地区	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	地区間移殖卵数 供給卵数 (千粒)	水研機構への 供給卵数 (千粒)	ふ化場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	
										供給場	稚魚数 (千尾)			
根室	北部	羅臼	3,400	3,400			羅臼	3,300	2,900	上標津	2,000	ルサ	2,000	
		春近古丹 (植別)	3,400	3,400			春近古丹	1,500	1,300	中標津	4,000	羅臼 春近古丹	2,900	
		元崎無異 葦別	2,000	2,000			元崎無異	1,100	1,000				植別	5,300
		伊茶仁	2,800	2,800		2,800	伊茶仁	2,300	2,000				元崎無異 葦別	1,000
		標津	21,000	21,000			中標津 上標津 標津	4,000	3,500	11,400 3,000 2,200			忠類 伊茶仁	2,600 2,500
		地区計	36,600	36,600	0	2,800	10か所 計根別 当幌	2,900	2,600	32,400		6,000	9水系	32,400
	南部	(春別)					床丹	2,300	2,000		当幌	1,000	春別	1,000
		西別	14,700	14,700		9,400	※虹別 奥西別 西別 本別	9,400 4,500 6,900 4,700	8,400 4,000 6,000 4,200		当幌	2,000	床丹	4,000
		風連	4,500	4,500							西別 本別	3,000 1,000	風連	4,000
		別当賀	6,300	6,300							本別	2,000	別当賀	2,000
		地区計	35,700	35,700	0	9,400	7か所	35,700	31,600		西別 本別	1,000	9水系	30,100
		海区計	72,300	72,300	0	12,200	17か所	72,300	64,000		西別 本別	500 500	18水系	62,500
	えりも 以東	地区計	0	0	0	0					美留和 西別	500	◎沖根婦漁港	1,000
海区計		0	0	0	0					美留和 西別	500	◎三里浜地先	1,000	
海区計		0	0	0	0					美留和 西別	500	◎昆布盛地先	1,000	
	地区計	0	0	0	0					3,000	3水系	3,000		
	海区計	0	0	0	0					3,000	3水系	3,000		

注: ()は補完河川、ふ化場・稚魚供給場の※は水研機構、◎は海中飼育等放流

別表1 - (3)

令和6年度サケふ化放流計画(中期)

海区	地区	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	地区間移殖卵数		水研機構への 供給卵数 (千粒)	ふ化場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)		
					供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)				
根室	北部	羅臼	3,300	3,300				モセカルベツ	4,500	4,000	モセカルベツ	1,000	ルサ	1,000		
		春茹古丹	3,300	3,300					羅臼	2,100	1,900	元崎無異		モセカルベツ	3,000	
		(植別)										元崎無異	2,200	春茹古丹	3,700	
		元崎無異	2,000	2,000					植別	2,300	2,000	元崎無異		植別	2,000	
		蘆別	5,500	5,500					元崎無異	8,300	7,400	元崎無異		元崎無異	3,500	
		伊茶仁	3,300	3,300			3,300		蘆別	5,500	4,900	忠類		蘆別	4,900	
									忠類	2,900	2,600	伊茶仁		忠類	2,600	
									※伊茶仁	3,300	3,000			伊茶仁	3,000	
									中標津	10,800	9,600					
									上標津	4,500	4,000					
									標津	5,300	4,700					16,300
									地区計	49,500	44,100		6,900		10水系	44,100
									当幌	7,000	4,000				当幌	4,000
		南部	(春別)							計根別	4,500	4,000				
			床丹	2,000	2,000					当幌	1,100	1,000			春別	1,000
西別	19,800		19,800			11,200		床丹	3,400	3,000			床丹	3,000		
風連	4,800		4,800					※虹別	11,200	10,000			西別	17,700		
別当賀	4,800		4,800					奥西別	5,600	5,000						
								西別	6,800	6,000						
								本別	5,800	5,200						
地区計	38,400	38,400	0	0	11,200		7か所	38,400	34,200		9,500		風連	3,500		
海区計	87,900	87,900	0	0	14,500		17か所	87,900	78,300		16,400		7水系	34,200		
													17水系	78,300		

注:()は補充河川、ふ化場・稚魚供給場の※は水研機構、◎は海中飼育等放流

別表1 - (4)

令和6年度サケふ化放流計画(後期)

海区	地区	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	地区間移植卵数 供給卵数(千粒)	地区間移植卵数 受給卵数(千粒)	水研機構への 供給卵数 (千粒)	ふ化場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	
											供給場	稚魚数 (千尾)			
根室	北部							モセカルベツ	2,800	2,500	モセカルベツ	1,000	ルサ	1,000	
		羅臼	3,300	3,300							モセカルベツ	500	モセカルベツ	1,000	
		春苅古丹	3,300	3,300							モセカルベツ 植別 元崎無異	2,000	羅臼	3,000	
		(植別)									元崎無異	3,000	春苅古丹	3,000	
		元崎無異	1,000	1,000					植別	3,400	3,000			植別	1,000
		薫別	1,800	1,800					元崎無異	8,400	7,500	忠類	500	元崎無異	2,500
									薫別	1,800	1,600	元崎無異	2,000	薫別	3,600
									忠類	1,500	1,300			忠類	800
		伊茶仁	2,700	2,700			2,700		※伊茶仁	2,700	2,500			伊茶仁	2,500
		標津	23,300	23,300					中標津	4,500	4,000				
									上標津	2,300	2,000				
									標津	8,000	7,100				
									計根別	35,400	31,500		9,500	10水系	31,500
							当幌	2,300	2,000			当幌	3,000		
根室	南部														
		(春別)													
		床丹	1,200	1,200									当幌	1,000	1,000
		西別	13,900	13,900					※缸別	7,400	6,600			西別	12,200
									奥西別	2,300	2,000				
									西別	3,900	3,500				
									本別	4,100	3,600				
		風蓮	1,900	1,900									西別	1,500	1,500
		別当賀	1,900	1,900									西別	2,000	2,000
		地区計	22,300	22,300	0	0	7,400		6か所	22,300	19,700		4,500	5水系	19,700
		海区計	57,700	57,700	0	0	10,100		15か所	57,700	51,200		14,000	15水系	51,200

注:()は補充河川、ふ化場・稚魚供給場の※は水研機構、◎は海中飼育等放流

別表2

令和6年度カラフトマスふ化放流計画

海区	地区	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	地区間移植卵数		水研機構への		ふ化場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	
					供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)	供給卵数 (千粒)	供給卵数 (千粒)				供給場	稚魚数 (千尾)			
根室	北部	サシルイ	3,000	1,300								春茹古丹	1,000	ルサ	1,000	
		羅臼	5,700	2,500								春茹古丹	1,000	サシルイ	1,000	
		春茹古丹 (元崎無異)	11,400	5,000						春茹古丹	26,600	21,500	春茹古丹	1,000	羅臼	1,000
		蕨別	3,000	1,300									春茹古丹	2,000	蕨別	2,000
		伊茶仁	12,400	5,200									春茹古丹	5,000	忠類	5,000
		標津	25,800	11,300									春茹古丹	4,500	伊茶仁	4,500
	地区計	61,300	26,600	0	0	0	0	0	1か所	26,600	21,500	春茹古丹	19,500	8水系	21,500	
	南部	当幌	7,800	3,400									床丹	2,000	当幌	2,000
		(春別)											床丹	500	春別	500
		(床丹)								床丹	8,700	7,000		床丹	1,000	
		西別	8,000	3,500									床丹	2,000	西別	2,000
		(風蓮)											床丹	1,000	風蓮	1,000
		別当賀	4,200	1,800									床丹	500	別当賀	500
地区計		20,000	8,700	0	0	0	0	0	1か所	8,700	7,000		6水系	7,000		
海区計	81,300	35,300	0	0	0	0	0	2か所	35,300	28,500		14水系	28,500			

注:()は補完河川、ふ化場・稚魚供給場の※は水研機構。

別表3 - (1)

令和6年度サクラマス稚魚ふ化放流計画

海区	地区	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	地区間移殖卵数		水研機構への 供給卵数 (千粒)	ふ化場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		稚魚 放流数 (千尾)	稚魚生産場	幼魚生産 移行数 (千尾)
					供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)			
根室	北部	伊茶仁	180	120		120	※根室		350	310	※根室	120	90	※伊茶仁	30
		標津	330	230		230							190		
	地区計		510	350	0	0	1か所	350	350	310		120	280		30
	海区計		510	350	0	0	1か所	350	350	310		120	280		30

注:ふ化場、稚魚供給場及び幼魚生産場の※は水研機構

別表3 - (2)

令和6年度サクラマス幼魚ふ化放流計画

海区	地区	幼魚生産場	稚魚収容数 (千尾)	幼魚生産数 (千尾)	幼魚移動		放流水系	幼魚放流数 (千尾)		
					供給場	幼魚数 (千尾)		0+秋	1+春	計
根室	北部	※伊茶仁	30	20			伊茶仁	0	10	10
		※根室	0	0	※伊茶仁	10	標津	0	10	10
	地区計		30	20			2水系	0	20	20
	海区計		30	20			2水系	0	20	20

注:ふ化場、稚魚供給場及び幼魚生産場の※は水研機構